



# 前商同窓会報

令和6(2024)年3月1日 第2号

発行責任者/糸井 義一

編集責任者/高梨春雄

題字/糸井義一同窓会長

## ごあいさつ



同窓会長

糸井 義一

(昭和44年度卒)

### 発行にあたり

同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。令和5年3月に、関係者の尽力により同窓会報創刊号を発行することができました。

母校は、2020年4月に創立100周年を迎え、同窓会は、大正13年(1924年)3月、第一回卒業生30人により発足し、実に100周年を迎えました。この間には、先人達の計り知れないご苦労があったものと改めて感謝と御礼を申し上げます。なにより多くの同窓生が各界、各方面で広く活躍されていることは、大変誇りに思います。

さて、令和5年度は、前商年と言われるほど輝かしい実績を収めていただきました。高校総体19年振りの総合優勝、高校商業競技大会14年連続18回目の優勝を飾りました。

硬式野球部は、13年振り6度目の夏の甲子園に出場しました。出場に際し同窓会、保護者会、PTA、野球部(後援会・OB会)をはじめ、大勢の前商支援者の皆様方から多額なご寄付を賜

りました。改めて皆様方の温かいご支援に対して御礼を申し上げます。

水球部は、全日本ユース(U16)選手権大会で全国優勝、陸上競技部も日本陸上競技選手権大会室内競技(U20)の三段跳で優勝し、男子バレー部は、春高バレー全国大会に出場、柔道部も全国高校選手権大会に出場いたしました。ワープロ部は全国第5位。情報処理部も全国第9位入賞。このように、運動部ともに全国で活躍し、まさに前商魂を発揮していただきました。

令和6年度の主要行事としましては、同窓会総会および懇親会、同窓会ゴルフ大会、併せて前東商支部総会および懇親会などを開催致しますので、多くの同窓生諸兄のご参加をお願い申し上げます。

結びに、同窓生および母校の皆様のみならずのご隆盛を祈り、同窓会報第2号発行に寄せる挨拶とさせていただきます。

### ごあいさつ



学校長

中村 清志

同窓会の皆様には、日頃より母校である群馬県立前橋商業高等学校の教育活動に対し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

同窓会報第2号の刊行にあたり、本校の近況を報告させていただきます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置づけ変更を受け、多くの学校行事を従来に近い形で開催できました。中でも6年ぶりに開催できた「前商祭」は大変な盛り上がりを見せました。生徒たちはゼロから文化祭の企画・運営に取り組み、約4000名のお客様を物品販売やクラス企画でおもてなしを行い、商業高校ならではの文化祭を成功に導きました。

今年度は部活動が大活躍した年でもありました。県高校総体では、柔道、男子バレーボール、バスケットボール、サッカー、水球の各々が団体優勝、19年ぶり15度目の男子総合優勝を獲得しました。続くインターハイでも、男子バレーボール、水球、ソフトテニス、陸上競技、柔道が全国大会に進出、

北海道の大地で躍動してくれました。また、硬式野球が6試合中5試合で逆転勝ちを収め、13年ぶり6回目の甲子園出場、男子バレーボールは4年ぶりに春高バレーにも出場いたしました。更に情報処理部、ワープロ部、簿記部、珠算部は県競技会総合14連覇を達成、全国大会でもワープロ部が第5位、情報処理部が第9位入賞を成し遂げました。校長室には優勝旗とトロフィーが数多く並んでおり、今年度の生徒たちの活躍を物語っています。この状況に満足することなく、これからも文武両道を目指してまいりますので、今後も後輩たちの活躍にご注目いただければ幸いです。

結びに、「至誠一貫」「燃えよ前商生 目指せ日本一」を目標に、生徒・職員一丸となり地域に信頼される学校づくりに邁進してまいりますので、同窓会の皆様には、今後も本校の教育活動へのご理解、ご支援をお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

# 特集 同窓会100年の軌跡

卒回	年 度	卒業生	備 考
	大正9年度	1920年度	前橋市商業学校創立
1	大正12年度	1923年度	30
2	大正13年度	1924年度	37
3	大正14年度	1925年度	39
4	昭和元年度	1926年度	44
5	昭和2年度	1927年度	50
6	昭和3年度	1928年度	44
7	昭和4年度	1929年度	40
8	昭和5年度	1930年度	76
9	昭和6年度	1931年度	79
10	昭和7年度	1932年度	80
11	昭和8年度	1933年度	72
12	昭和9年度	1934年度	70 群馬県立前橋商業学校(県移管)
13	昭和10年度	1935年度	68
14	昭和11年度	1936年度	89
15	昭和12年度	1937年度	91
16	昭和13年度	1938年度	84
17	昭和14年度	1939年度	88
18	昭和15年度	1940年度	88
19	昭和16年度	1941年度	89 12.26太平洋戦争により繰上卒業
20	昭和17年度	1942年度	98 12.26繰上卒業。内18名が臨時補習科に残り課程終了後進学
21	昭和18年度	1943年度	102 12.23繰上卒業
22	昭和19年度	1944年度	93 4.1前橋第二工業学校併設 88 5年生卒業 88 4年生繰上卒業(昭和18年改正の中学校令による) 3.31前橋商業学校廃止
23	昭和20年度	1945年度	12 11.8臨時卒業(5年生) 11 11.8臨時卒業(4年生) 113 4年生卒業(うち11名は5年生で残る)
24	昭和21年度	1946年度	11 5年生卒業のため卒業回数は24回とする
25	昭和22年度	1947年度	116 群馬県立前橋商業学校に改称 工業部門は前橋工業学校へ移管 付設中学校卒のうち25名は高校過程へ
	昭和23年度	1948年度	206 群馬県立前橋商業高等学校発足 女子部新設、10.7定時制開設 25 5年生卒業のため卒業回数は25回とする 付設中学校卒業のうち178名は前橋商業高校 全日制課程へ、2名は定時制へ進学
26	昭和24年度	1949年度	65 他定時制旧制中学校22名卒業
27	昭和25年度	1950年度	167 4.24定時制大胡分校開設、生徒数63名 うち女子19名
28	昭和26年度	1951年度	305
29	昭和27年度	1952年度	283 うち女子18名
30	昭和28年度	1953年度	276
31	昭和29年度	1954年度	313
32	昭和30年度	1955年度	303 うち女子39名
33	昭和31年度	1956年度	309
34	昭和32年度	1957年度	319
35	昭和33年度	1958年度	349
36	昭和34年度	1959年度	343
37	昭和35年度	1960年度	326
38	昭和36年度	1961年度	335
39	昭和37年度	1962年度	384
40	昭和38年度	1963年度	380
41	昭和39年度	1964年度	448 うち女子120名
42	昭和40年度	1965年度	492 群馬県立前橋東商業学校開校 うち女子112名
43	昭和41年度	1966年度	493 うち女子111名、他定時制76名
44	昭和42年度	1967年度	501 うち女子118名、他定時制67名
45	昭和43年度	1968年度	490 うち女子108名、他定時制69名
46	昭和44年度	1969年度	475 うち女子99名、他定時制70名
47	昭和45年度	1970年度	446 うち女子99名、他定時制48名
48	昭和46年度	1971年度	428 うち女子97名、他定時制44名
49	昭和47年度	1972年度	422 うち女子112名、他定時制26名
50	昭和48年度	1973年度	420 うち女子96名、他定時制27名
51	昭和49年度	1974年度	412 うち女子89名、他定時制26名卒業

卒回	年 度	卒業生	備 考
52	昭和50年度	1975年度	409 うち女子90名、他定時制15名卒業
53	昭和51年度	1976年度	426 うち女子93名、他定時制13名卒業
54	昭和52年度	1977年度	399 うち女子88名、他定時制6名卒業
55	昭和53年度	1978年度	402 うち女子94名、他定時制14名卒業 群馬県立前橋東商業学校定時制閉校
56	昭和54年度	1979年度	411 うち女子89名、他定時制12名卒業
57	昭和55年度	1980年度	409 うち女子88名、他定時制8名卒業
58	昭和56年度	1981年度	416 同窓会関西支部設立 うち女子94名、他定時制6名卒業
59	昭和57年度	1982年度	405 うち女子89名、他定時制7名卒業
60	昭和58年度	1983年度	401 うち女子93名、他定時制11名卒業
61	昭和59年度	1984年度	381 うち女子89名、他定時制16名卒業
62	昭和60年度	1985年度	400 うち女子94名
63	昭和61年度	1986年度	395 うち女子89名、他定時制17名卒業
64	昭和62年度	1987年度	390 うち女子128名
65	昭和63年度	1988年度	393 うち女子179名、他定時制16名卒業
66	平成元年度	1989年度	401 うち女子135名、他定時制11名卒業
67	平成2年度	1990年度	415 うち女子141名、他定時制15名卒業
68	平成3年度	1991年度	416 うち女子137名、他定時制18名卒業
69	平成4年度	1992年度	397
70	平成5年度	1993年度	403 定時制課程の生徒募集停止
71	平成6年度	1994年度	334
72	平成7年度	1995年度	344 定時制閉校記念式開催
73	平成8年度	1996年度	315
74	平成9年度	1997年度	314
75	平成10年度	1998年度	307
76	平成11年度	1999年度	304
77	平成12年度	2000年度	302
78	平成13年度	2001年度	311
79	平成14年度	2002年度	312
80	平成15年度	2003年度	304
81	平成16年度	2004年度	306
82	平成17年度	2005年度	313
83	平成18年度	2006年度	311
84	平成19年度	2007年度	307
85	平成20年度	2008年度	303 3.31群馬県立前橋東商業学校閉校
86	平成21年度	2009年度	300
87	平成22年度	2010年度	320
88	平成23年度	2011年度	308
89	平成24年度	2012年度	322
90	平成25年度	2013年度	323
91	平成26年度	2014年度	317
92	平成27年度	2015年度	320
93	平成28年度	2016年度	318
94	平成29年度	2017年度	316
95	平成30年度	2018年度	318
96	令和元年度	2019年度	314
97	令和2年度	2020年度	313
98	令和3年度	2021年度	274
99	令和4年度	2022年度	279
100	令和5年度	2023年度	273

## 歴代同窓会長

代	氏 名	在任期間
初代会長	藤沢鎮太郎	1924(大正13)年3月7日就任
第2代会長	櫻井芳雄	
第3代会長	鈴木万太郎	
第4代会長	川隅路之助	1953(昭和28)年9月6日就任
第5代会長	江之沢正暢	1956(昭和31)年8月就任 任期中逝去
	渡辺喜三郎	1972(昭和47)年9月6日会長代行
第6代会長	大友恒男	1973(昭和48)年5月19日就任
第7代会長	金子才十郎	1985(昭和60)年5月就任
第8代会長	井田信夫	2007(平成19)年7月28日就任
第9代会長	糸井義一	2015(平成27)年7月18日就任~現在

## 令和5年度 群馬県立前橋商業高等学校同窓会総会

日時：令和5年7月2日(日) 16時30分～

場所：マック・スクエア スワン 2階「リリー」

- 1 開会の言葉 副会長 西川 定男
- 2 校歌斉唱
- 3 挨拶 会長 糸井 義一  
校長 中村 清志
- 4 議 事
  - 第1号議案 令和4年度 同窓会事業報告 事務局
  - 第2号議案 令和4年度  
同窓会会計決算報告 事務局長 《総会》  
監査報告 小屋 知弘 (監事)
  - 第3号議案 役員改選

- 第4号議案 令和5年度 同窓会事業計画 事務局
- 第5号議案 令和5年度 同窓会会計予算 事務局長
- 5 その他
- 6 幹事紹介  
令和5年度担当 代表幹事  
齋木 雄二 (昭和55年度卒)  
令和6年度担当 幹 事  
新井 之久 (昭和56年度卒)
- 7 閉会の言葉  
副会長 高梨 恵子



## 同窓会 懇親会開催報告

日時：令和5年7月2日(日)17時30分～

場所：マック・スクエア スワン2階「クラ」

- 1 開会の言葉
- 2 校歌斉唱
- 3 挨拶 代表幹事 齋木 雄二 (昭和55年度卒)  
会長 糸井 義一  
校長 中村 清志

### 4 来賓紹介

### 5 表彰及び受章者 (敬称略)

- |       |                  |                 |
|-------|------------------|-----------------|
| 令和元年度 | 瑞宝双光章            | 倉林 良光 (昭和41年度卒) |
| 令和2年度 | 瑞宝双光章            | 唐澤 嘉六 (昭和42年度卒) |
|       | 瑞宝双光章            | 宮本 清一 (昭和40年度卒) |
|       | 群馬県総合表彰          | 関口 秀夫 (昭和36年度卒) |
|       | 東京オリンピック女子水球代表監督 | 本宮万記弘 (昭和62年度卒) |
| 令和3年度 | 旭日双光章            | 大竹 政雄 (昭和45年度卒) |
|       | 瑞宝双光章            | 狩野 茂行 (昭和42年度卒) |
|       | 瑞宝双光章            | 松島 正喜 (昭和42年度卒) |
|       | 瑞宝単光章            | 澁川 好伸 (昭和42年度卒) |
|       | 瑞宝単光章            | 四ツ目勝行 (昭和39年度卒) |
|       | 群馬県功労者           | 坂本 清 (昭和47年度卒)  |

- 6 前橋商業ゴルフ大会について (ご案内)
- 7 乾杯 顧問 松本 邦夫
- 8 歓談及び余興
- 9 閉会の言葉 次年度幹事 新井 之久 (昭和56年度卒)

- |       |         |                 |
|-------|---------|-----------------|
| 令和4年度 | 旭日双光章   | 久保田 晋 (昭和37年度卒) |
|       | 瑞宝小綬章   | 中井 英明 (昭和44年度卒) |
|       | 瑞宝単光章   | 篠原 賢一 (昭和54年度卒) |
|       | 瑞宝単光章   | 田子 義信 (昭和52年度卒) |
|       | 群馬県功労者  | 茂木 弘伸 (昭和45年度卒) |
| 令和5年度 | 旭日小綬章   | 八木原園明 (昭和40年度卒) |
|       | 群馬県総合表彰 | 桑子 憲司 (昭和60年度卒) |
|       | 群馬県総合表彰 | 三森 和也 (昭和61年度卒) |
|       | 群馬県総合表彰 | 山縣 義一 (昭和42年度卒) |
|       | 群馬県功労者  | 六本木真弓 (昭和43年度卒) |

## 令和6年度総会・懇親会日程

令和6年7月6日(出)

マック・スクエアスワン (前橋商工会議所)

## 令和5年度 同窓会行事報告

- 令和5年 4月10日(月) 入学式  
4月28日(金) 開校記念式典 (前商第1体育館)  
記念講演会  
講演 三ツ葉楽器株式会社  
代表取締役 大澤 茂 様  
(昭和42年度卒)  
演題「ウクレレにかけた夢」
- 5月13日(土) 同窓会本部役員と幹事学年の打合せ (前商会議室)  
6月3日(土) 首都圏支部総会 (アルカディア市ヶ谷)  
10日(土) 第1回同窓会本部役員会・幹事学年の打合せ (前商会議室)  
17日(土) 利根沼田支部総会 (焼肉酒楽JyuJyu)  
24日(土) 渋川支部総会 (ホワイトパーク)  
7月2日(日) 同窓会総会・懇親会  
(マック・スクエアスワン)



- 10月29日(日) ゴルフコンペ (赤城国際カントリー)
- 令和6年 1月11日(木) 第2回同窓会本部役員会 (前商会議室)  
2月2日(金) 生徒研究発表会 (前商第1体育館)  
2月29日(木) 褒賞授与式・同窓会入会式  
3月1日(金) 卒業式 同窓会報第2号発行

## 同窓会 ゴルフコンペ開催

開催日：令和5年10月29日(日)  
場 所：赤城国際カントリークラブ

総合優勝 齋藤順一さん (昭和42年度卒)  
一般優勝 福島勇人さん (昭和54年度卒)  
レディース優勝 飯野有香里さん (昭和56年度卒)

代表幹事 今成克之さん (昭和51年度卒)



左から齋藤さん、糸井会長、飯野さん、福島さん



ゴルフ大会会場



赤城国際カントリークラブ

秋空のもと、参加者97人で盛大にゴルフコンペを開催することで、同窓生同士の親睦が深められました。

※女性のゴルフコンペ参加者を歓迎します。

令和6年度ゴルフコンペ日程 令和6年10月20日(日) 赤城国際カントリークラブ

## 令和6年度同窓会懇親会 代表幹事インタビュー



令和6年度担当代表幹事

**森 英也 氏**

(昭和56年度卒)

それは、突然、前商同期で野球部員だった新井君からの電話から始まり、私らの学年が来年度の同窓会の幹事学年になること、代表幹事候補が多忙ということで、私に代表幹事の役が回ってきたこと、あっという間に、同窓会の代表幹事としての車輪が動き出していました。

私自身、現在前工の校長していますが、母校の活躍や同窓会活動とは交わりが少なく、今般のお話を引き受けるには若干の戸惑いがありましたが、いざ、引き受けてみるとその重責に身が引き締まる思いです。

コロナ明けで実施した先輩学年のタスキを受け、今までの教師経験を生かし、会員の皆様の納得感のある同窓会懇親会としていきたいと思います。

また、幹事学年らは同窓会同日のために、昨年より準備を行ってきました。  
是非とも多くの会員の皆様に参加頂くようお願い申し上げます。

取材：副会長 富田等

# 学校行事



高校総体  
中間試験



スポーツフェスティバル  
面接月間



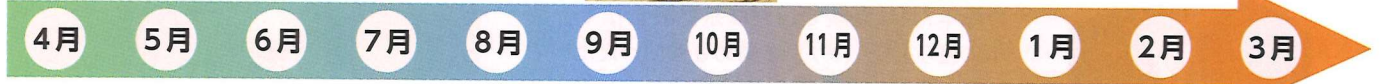
マラソン大会  
期末試験



簿記週刊  
各種検定



卒業式



4月  
入学式  
開校記念式典  
赤城研修



5月  
各種検定  
期末試験

6月  
夏季講習  
長期インターン  
シップ



7月  
中間試験  
短期インターンシップ  
前商祭・体育大会  
(各年交互開催)



8月  
修学旅行  
各種検定



9月  
生徒研究発表会  
予餞会  
学年末試験



## 令和5年度 部活動の活躍状況について

### ■群馬県高等学校総合体育大会総合成績

#### ◇男子 総合優勝

優勝：水球部、男子バレーボール部、柔道部、サッカー部  
バスケットボール部、個人：陸上競技部（男子三段跳）

### ■関東大会成績

水球部（第3位）、ソフトボール部（3位）  
男子バレーボール部（ベスト16）  
個人：陸上競技部（男子三段跳、準優勝）、男子ソフトテニス部（ダブルス、ベスト16）

### ■全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場

水球部、男子バレーボール部  
個人：柔道部、陸上競技部（男子三段跳）、男子ソフトテニス部（ダブルス）

### ■全国大会出場

水球部：全日本ユース（U16）水球競技選手権大会（全国優勝）  
硬式野球部：全国高等学校野球選手権記念大会（甲子園大会）  
男子バレーボール部：全日本バレーボール高校選手権大会（春高バレー大会）  
柔道部（男子）：全日本高校柔道選手権大会（団体、個人4階級）  
個人：陸上競技部（男子三段跳、優勝） 日本陸上競技選手権大会 室内競技 U20



## 文化部の活躍状況について

### ◆群馬県高等学校商業競技大会

#### ◇総合優勝（14年連続18回目）

優勝 珠算部（珠算競技/電卓競技）：団体部・個人部  
優勝 簿記部：団体の部・個人の部  
優勝 ワープロ部：団体の部・個人の部  
優勝 情報処理部：団体の部・個人の部

### ◆全国大会結果

ワープロ部：団体5位、個人（優良賞・佳良賞）  
情報処理部：団体9位、個人（佳良賞）  
珠算部：個人（優良賞・佳良賞）



ワープロ部

## OB・OGの活躍



**神田 松鯉**

(昭和36年度卒)

### ■略歴

令和元年 (2019年)  
重要無形文化相保持者  
(人間国宝)  
令和3年 (2021年)  
旭日小綬章

講談界に「冬は義士・夏はお化けで飯を食い」という戯句がある。冬は赤穂浪士伝、夏は怪談を口演するからで、小生も新宿末廣亭で毎年7月は怪談で11月は赤穂浪士伝で十数年に渡り主任(トリ)を勤めさせていただいている。講談は長い間低迷を続けて来たが、この数年若手の活躍によって少しずつ光が当たりはじめたのは有難い事だと思う。

もうひとつ嬉しい事がある。赤穂義士外伝「荒川十太夫」という講談は、小生が昔の速記本から掘り起こして口演して来たものだが、四世尾上松緑丈によって歌舞伎化され、令和4年5月銀座の歌舞伎座で上演され好評を呼んだ。更に令和5年12月には同じく義士外伝「俵屋玄蕃」がやはり松緑丈主演にて上演され、これも大好評。続いて令和6年歌舞伎座の正月公演で早くも「荒川十太夫」が再演されるという朗報が続いている。こうして講談が各方面から注目され始めたことを喜ぶと同時に感謝の念が尽きない。



**後藤 駿太**

(平成22年度卒)

### ■略歴

平成22年 (2010年)  
ドラフト1位オリックス入団  
令和4年 (2022年)  
中日に移籍

### 「優秀な仲間に出会って、心身共に大きく成長できる」

前商の学校生活は、校訓に「至誠一貫(質実剛健・文武両道・先事後得)」とあるように、勉強面だけでなく生徒一人ひとりの精神面の育成にも力を入れているところに大きな特徴があると思います。例えば、今でも印象に残っているのが赤城研修です。集団行動や校歌指導など非常に大変ですが、そういった行事で鍛えられた粘り強さや忍耐力は大きな財産となっています。また、生徒達の仲間意識の強さも前商ならではの強さだと思います。高校3年間の学校生活の中で卒業してからも気兼ねなく付き合い、相談できる大切な仲間もたくさん作る事ができました。

前商にはプロアスリートや様々な業界の第一線で活躍している人がとても多いです。今でも当時のクラスメートや野球部の仲間とは仲が良く、色々な話が聞けてとても楽しいです。今思

うと、そういった様々な才能を持った仲間たちと共に3年間の学校生活を送れたことは、自分にとってとてもプラスになったと思います。これから前商に入る人にも、周囲の人への感謝や同級生との友情の大切さを学びつつ、互いに高め合い、切磋琢磨しながら実りのある学校生活を送ってもらいたいです。前商はそういった、人として大切な精神性を学びながら、それぞれの目標に向かって頑張ることができる、魅力的な場所だと思います。



# 支部活動報告

(部名の五十音順)

## 首都圏支部

支部長兼副会長 宮崎 彰  
(昭和48年度卒)



私たち首都圏支部では、コロナ禍で4年間中止していた支部総会および懇親会を2023年6月3日(土曜日)アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催いたしました。この日は、糸井義一同窓会長、中村清志校長等の参加を頂き、参加者80名全員が久し

ぶりの再会を喜び、校歌や応援歌を歌ったり学校紹介のDVDを鑑賞したりして、会話の花を満開に咲かせることができました。

また、首都圏支部では、前商野球部が甲子園に向かう2023年8月1日に、有志12名が集い東京駅18番線ホーム上で(JR東海広報室と相談の上)13年ぶりの球児“壮行会”を行うことができ、歴史的な活動を刻むことができました。その他有志によるカラオケ大会や散歩会などの活動

も行いました。

役員会では、支部員の拡大や支部の活性化等を話し合うなどし、支部の規則も改正しました。この改正により2024年から総会・懇親会を7月定例開催とすることになりました。(2024年は7月20日予定)これからも首都圏の全同窓が楽しく集える活動を企画してまいります。



## 利根沼田支部

支部長兼副会長 村沢 博行  
(昭和47年度卒)



当支部活動は同窓生の連帯と親睦・交流を目的に年1回総会(懇親会)を開催してきました。発足当初は40名前後の参加がありましたが、近時は20名程度の参加でメンバーも固定化している状況です。発足して既に40数年

が経っていることを考えると、ここまで来たことへの誇りと自負を再確認しつつ、初心に立ち返り情報収集を始め、呼びかけや横の連携等を行い多くの同窓生に参加していただけるよう、役員一同努力して参りたいと思います。

## 渋川支部

支部長兼副会長 狩野 一郎  
(昭和49年度卒)



平成25年に渋川支部が設立され、毎年6月第4土曜日に総会を開催し、40名ほどの参加を頂いております。同窓会長、前商校関係者を来賓としてお迎えし、本校の近況報告、学生の活躍等を聞き前商卒業生で良かったと胸を張

れる思いです。懇親会で先輩、後輩を問わず、毎年会うのを楽しみにしています。支部での団結力を築き、本校同窓会の運営に支部として微力ながら協力していければと感じています。

## 前東商支部

支部長兼副会長 星野 嘉六  
(昭和41年度卒)



昭和25年、前橋市東部(当時勢多郡大胡町)に、昼間は家業を手伝い、夜は勉強したい若者の為に、大胡中学の校舎を借りて、スタートしたのが前東商の前身である前商大胡分校夜間部でした。その後、人口増加や経済成長に伴う社会変化と時代の要請で、昭和34年に全

日制過程が始まった。さらに昭和40年には前商から独立、県内唯一の女子商業高校誕生となった。58年間で9,000人近い同窓生を送り出しが、平成21年、少子化と共に、その役割を終えて前商本校への古巣帰り(統廃合)と相成った。今年は8年ぶりの支部総会を予定している。



# 役員紹介

(順不同)

## 副会長 浅見 光生 (昭和42年度卒)



今年は温暖化で暑い夏が長く、秋を通り越して冬に突入、世界は混沌し、各地で戦争や経済摩擦、貧困等、限りなく人間同志の争いが多く見られる今日この頃。私、42回生は高度成長の中で高校生活を送りました。3年間軟式庭球部(現在のソフトテニス部)に所属、練習、試合に励み、多くの先生及び諸先輩の力と共に校風「誠意一貫」「文武両道」の精神を学んだことが、社会人になり現在ソフトテニスの小学生指導者として礎となっています。これからも後輩達が校風の良さを理解し、受け継がれることを期待します。

## 副会長 西川 定男 (昭和44年度卒)



硬式野球部のOB会長として本部役員になって8年が過ぎました。大先輩の方々の後ろから各行事の手伝いをさせて頂き、我が前商の強い結束力を肌で感じさせて頂いてきました。

さらに糸井会長が就任され色々な改革を実行しております。まずはより多くの情報が皆様に届くようにと、この「同窓会報の復活」など同窓会の活性化が進められております。

今年度は我が硬式野球部も強豪私学ともいわれる5校を感動的な逆転勝利で撃破し13年ぶりに甲子園の土を踏むことが出来ました。その際には多くの方々にご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。

## 副会長 高梨 春雄 (昭和50年度卒)



わたくしは、ハンドボールOB会選出の副会長です。現在、同窓会報の編集委員を担当しています。同窓会報を通じて同窓生と学校の架け橋の役割を担い、母校に対する一体感を醸成するため、同窓会の行事や母校の状況などを掲載させていただいています。また、同窓会活動を通じて同窓生同士のコミュニケーションの活性化や学校運営の活性化などの一助になればよいと願っております。

## 副会長 神尾 雅敬 (昭和50年度卒)



令和5年7月に同窓会副会長に選任されました神尾雅敬(52回生)です。現在、前商柔道部OB会の副会長としても、会員相互の親睦と、母校柔道部の発展に寄与することを目的として、松本邦夫会長の下で活動させていただいております。

同窓会本部役員は初めてですが、糸井義一同窓会長の下で、同窓会員その後の親睦と母校前商の隆盛に貢献できるよう微力ではありますが尽力させていただきます。

なお、前商同窓会活性化対策の親睦ゴルフ大会担当班副班長にも選任されましたので、幹事の皆さんと連携して大会開催を盛り上げていきたいと思っておりますので、会員皆様の大会運営へのご支援ご協力をお願いいたします。

## 副会長 梅山 晋太郎 (昭和55年度卒)



役員の中で最年少の梅山です。令和3年度前商同窓会総会において、「各部活動OB会の会長を同窓会副会長に」との決議により、剣道部OB会長として同窓会副会長に任命を受け2期目となります。担当は同窓会報発行担当班です。微力ですが母校前商の隆盛と同窓会の発展に努めさせていただきたいと思っております。

## 副会長 六本木 真弓 (昭和42年度卒)



前商同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

昨年の10月29日(日)に赤城国際カントリークラブで、今成克之氏を代表幹事として第18回前商同窓会ゴルフ大会が参加者97名にて盛大に開催されました。参加人数は100名を割り込んで仕舞いでしたが、コロナ禍もあり令和元年以来3年振りの開催となりました。

今年も、10月20日(日)に赤城国際カントリークラブでの開催が決定致しましたので、お誘い合わせのうえ同窓会会員皆様多数のご参加をお願い致します。なお、ご協賛品などのご協力も賜ればと併せて宜しくお願い致します。

## 副会長 高梨 恵子 (昭和50年度卒)



わたくしが副会長に選出された経緯はわかりませんが、女性の役員がないことから選出されたものと解釈しています。現在、女性同窓生の活性化という役割をいただいておりますが、これもどのようなことが活性化につながるのかよくわかりません。しかし、副会長の名を受けた以上、女性同窓生へ同窓会行事への参加呼びかけを積極的に行っていききたいと思います。

## 副会長 富田 等 (昭和53年度卒)



私は、数多くいる副会長の中で二番目の若造です。それでも還暦を過ぎ3年が経ちました。高校当時は毎日利根川河川敷でボールを追いかけて、息子3人も同じ道を歩んでくれました。現在は、44年勤務した群馬銀行を退職し、銀行時代の後輩の会社に勤務しています。同窓会の役員として、大きなことはできませんが、会員の皆様のためにコツコツと仕事をしていきたいと思っております。

## 監事 小屋 知弘 (昭和50年度卒)



監事的小屋でございます。糸井会長の「舵取り」のもと、前商生への物心両面からの支援と同窓会員の相互の発展を願い活動しております。

「フレイフレイ前商」を「合言葉」に役員相互の連携を図り活動して参りますので、同窓会会員各位様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 事務局 齋田伊佐巳 (昭和53年度卒)



前商に赴任とともに、同窓会の事務局を任せられ、今年6年目となりました。

この間に創立100周年を迎え、準備に関わる機会も頂きました。

糸井会長をはじめ、役員の方々、同窓会員の皆様のご協力を頂き、事務局の仕事は円滑に進めることができました。今後とも皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



## 編集後記

皆さんは健康に留意していますか。若い時は前商の部活動で培った体力で大病もなく過ごしてきました。しかし、60歳を過ぎると体力、気力ともに低下してきているように感じます。とは言っても自分の健康は自分で守ることしか出来ません。そこで、簡単にできるウォーキングをお勧めします。

私は、毎朝5時に出かけ、40分のウォーキングをしています。冬は満天の星空を鑑賞しながら、これからの季節は

天気の良い日は清々しく、気分も晴れますが、雨の日や風の日は何故こんなことしているのだろうと自問自答しながらのウォーキングです。しかし健康維持できるのが最大のメリットです。これから徐々に暖かくなります。燦爛と輝く陽の光を浴び、山の息吹を感じ、身近な田園風景などの変化を楽しみながら、ウォーキングを楽しんでは如何でしょうか。  
(記 編集責任者：高梨春雄)